

モンゴルの生鮮品貯蔵を変える アイスシェルター

寒さを味方につけた省エネ低温貯蔵庫

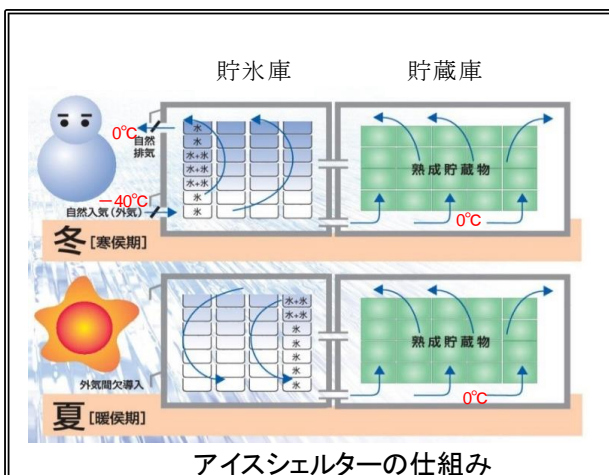
国際協力機構(JICA)は1月26日、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において株式会社土谷特殊農機具製作所(北海道帯広市、土谷 紀明代表取締役)が提案する「アイスシェルターを用いた農畜産物低温貯蔵システムに関する基礎調査」(モンゴル)を採択しました。

モンゴルでは、農畜産物など生鮮品の流通が円滑に行われておらず、生鮮品である農畜産物を広域に流通するのが困難な状況です。そのため、農牧業に依存する地方経済の振興に歯止めがかり、都市部と地方の経済格差は拡大しています。

昭和8年の創業以来、酪農機械等の開発等で地域に貢献してきた同社が今回提案するアイスシェルターは、自然氷を利用し、一年を通し安定して0度の低温環境を維持できる低温貯蔵庫です。維持費がほとんどかからないこの貯蔵庫は、モンゴルの流通を変える可能性を秘めています。



アイスシェルター外観



本調査では、モンゴルにおける生鮮品の流通過程における、低温貯蔵に関するニーズ調査を行うと同時に、同国内でのシェルター建設にかかる課題等についても調査を行います。

本調査は、我が国の中小企業を対象とした「基礎調査」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2016年度第2回は昨年9月に公示を行い、14件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)基礎調査2016年度第2回公示の採択結果について

URL:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 国内事業部中小企業支援調査課 永野(案件担当)、橋本(広報担当) TEL 03-5226-9283 e-mail: pdtfs@jica.go.jp
JICA 北海道国際センター(帯広)道東業務課 木村、林 TEL 0155-35-1210 e-mail: Hayashi.Kana@jica.go.jp

PRESS RELEASE



独立行政法人国際協力機構
北海道国際センター(帯広)
2017年2月13日
